

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	フランスにおける公共史の実践：パリとリヨンの調査				
研究組織	代 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	剣持 久木
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	小窪 千早
		所属・職名	国際関係学部・講師	氏名	西村 晶絵
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	剣持 久木

講演題目
パリとリヨン、二都物語
研究の目的、成果及び今後の展望 研究代表者は、これまで「ヨーロッパにおける公共史の実践」をテーマに、研究を蓄積し、2019年に始まる国際関係学部カリキュラム改革では「公共史」科目を開設し、教育実践も積み重ねてきた。すでに何度も学生引率の海外実地調査を実施してきたが、今回は、2023年に交流協定を締結したリヨンカトリック大学を訪問することを中心に、フランスにおける「公共史」の実地調査を行った。なお、研究分担者の西村晶絵講師は、事前の準備段階では学生のプレゼン練習の指導などに尽力されたが、実地調査に際しては体調の問題が生じたため、小窪准教授に交代している。 フランス実地調査に先立つ準備としては、参加予定学生を対象に、準備演習を複数回実施し、関連映画鑑賞や、リヨンカトリック大学での交流行事のためのプレゼン準備を行った。10月17日に出発して、26日に帰国した調査日程の前半はパリ、後半はリヨンに滞在した。パリでは、滞在初日にパリおよびヴェルサイユの団体見学を行い、二日目は、剣持が指導する歴史散歩と小窪准教授が指導する現代パリ探訪の二つのグループで行動した。いずれも歴史的パリ、現代パリに実際に触れることで公共史の実践になった。三日目はグループ別自主行動で、ルーブル美術館やオルセー美術館などを学生たちは見学した。リヨンに移動した初日は、リヨンカトリック大学と交流行事を行い、双方の学生が、自国文化、地域そして母校の紹介を行い、その後懇談した。リヨンの二日目は、歴史地区をガイドの引率で散策し、古都リヨンにおける公共史を実践した。リヨンの三日目は、グループ別自主行動であったが、各種博物館に足を運ぶグループが多く、「レジスタンス博物館」で第二次世界大戦下のフランスについての公共史の実践をする学生たちもいた。 帰国後は、研修旅行の詳細な報告書を作成し、また国際関係学部の学生生活活性化プロジェクトの一環としての報告会でも、学生が報告を行った。今回の実地調査は、学生の研修旅行であると同時に、公共史の実践の機会となった。特にリヨンカトリック大学での交流行事では、2025年度に県大に交換留学生として派遣される学生とも交流することができた。フランスにおいてリール政治学院に次いで二校目の交流協定相手であるリヨンカトリック大学で交流行事ができたことは、今後の県大の国際交流にとっても大変有意義な機会であると考えている。ちなみに、リール政治学院に今年度交流協定留学している学生2人も、今回の研修旅行の行程における「パリ散歩」に飛び入り参加し、公共史の実践に自主的に参加している。